

2023年9月29日

保健看護学部2年生の皆様へ

## 研究に関するお知らせ

このたび、2023年6月16日に実施した「看護方法論Ⅱ（看護過程）」の「呼吸困難の患者の看護の演習」の評価を実施することになりました。そこで、みなさんが提出された演習記録の内容について分析させていただきたいと考えています。この研究は、本学の倫理審査委員会の承認を得て行うもので、既に存在する情報を利用していただく研究ですので、成績には一切関係なく、皆様に新たなご負担をお願いするものではありません。

以下の内容を確認していただき、ご質問がある場合やご自身の情報が利用されることを望まない場合は、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。

## 研究の内容

- 1) 研究課題名：看護学生が初めて看護実践をおこなう実習に向けた「呼吸困難のある患者の看護の演習」の評価
- 2) 研究の対象者：「看護方法論Ⅱ（看護過程）」の「呼吸困難の患者の看護」の演習を受講し演習記録を提出した方
- 3) 研究期間：倫理審査承認日～2026年3月31日
- 4) 研究の目的：「呼吸困難のある患者の看護の演習」の評価として、学習終了後の学生の皆様の演習記録を分析し、本演習による教育効果と指導上の課題を明確にすることです。
- 5) 研究方法：研究参加者の方の演習記録を匿名化し、演習記録に記載された内容について電子データ化して分析します。
- 6) 利用させていただく情報：「呼吸困難のある患者の看護の演習」の演習記録に記載された、①事例患者への看護の実施内容、結果、評価、②演習の評価（7項目）、③演習全体を通して学んだこと、④今後の自己の課題の4つを分析します。
- 7) 研究組織：和歌山県立医科大学保健看護学部 基礎看護領域の教員  
研究責任者\_\_野々口陽子  
研究分担者\_\_水田真由美、岩根直美、坂本由希子、米島望、坂口育子  
研究協力者\_\_岩崎有香、角谷真由美、多田裕子
- 8) 本研究への参加を辞退する方法：ご自身の演習記録が利用されることを望まない場合は、〇月〇日まで下記問い合わせ先までご連絡ください。〇月△日以降、演習記録は匿名化され、特定の個人のデータを削除できない状態となるため、ご辞退できなくなります。なお、研究協力をご辞退されても、成績等に影響せず、不利益を被ることは一切ありません。
- 9) 研究計画書及び研究の方法に関する資料の閲覧：他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧できます。閲覧されたい場合は、下記の相談窓口までご連絡ください。
- 10) 個人情報の保護に係る手続き：本研究への参加を辞退される方の演習記録を除外した後、研究参加者の方の演習記録に記載されている学籍番号と氏名を切り離し、ランダムに並べ替えた後、データを識別する番号を割り当てて管理します。研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際にも個人情報が公表されることはありません。匿名化された演習記録と電子化したデータは研究終了後、鍵のかかる場所に10年間保管し、その後復元できないようにして廃棄します。
- 11) 資金源及び利益相反について：本研究は保健看護学部個人研究費で行われ、開示すべき利益相反はありません。
- 12) 問い合わせ先：和歌山県立医科大学保健看護学部 野々口陽子  
E-mail：nono@wakayama-med.ac.jp  
(Teamsのチャットでご連絡いただいても構いません)